第 6 章　重点取り組み

第6章　重点取り組み

温暖化を防止し「二酸化炭素の排出を抑制したクールシティしながわ」を実現するためには、省エネ行動の普及と自然エネルギーの利用、まちそのものを省エネ化することが重要となります。また、省エネ行動に関しては、区民・事業者の取り組み活動を促進させ、着実に削減を図っていくことが基本であり、活動を促進させるため、環境学習・環境教育による意識の向上・維持も必要です。さらに、様々な取り組みを区が率先して実践することはもちろんですが、区が区民・事業者を支援するとともに、区民・事業者・区のそれぞれが「協働」して取り組んでいくことが重要です。

計画の推進にあたっては、「区民・事業者の行動と区による施策（第５章）」で示した行動や施策を絞り込み、取り組むことが効果的です。したがって、これらの施策の中から、優先的かつ注力して推進するものとして、次の５項目を「重点取り組み」の項目としました。

重点取り組み

重点取り組み 1　**省エネ型ライフスタイルの促進**　(p56)

重点取り組み 2　**環境に配慮した事業活動の促進**　(p58)

重点取り組み 3　**環境学習・環境教育の充実**　(p60)

重点取り組み 4　**自然エネルギーの導入促進**　(p62)

重点取り組み 5　**低炭素型まちづくりの実現に向けて**　(p64)

重点取り組み１　省エネ型ライフスタイルの促進

私たちの家庭から排出される二酸化炭素は、品川区の排出量の約２割を占めています。家庭からの二酸化炭素の排出は、全国的に見ても家電の普及などによる便利な生活の実現に伴い増加してきており、削減に向けた強力な取り組みが必要です。その一方で、家庭からの温室効果ガスの排出に対しては規制的な対策をとることができないため、もっとも対策の難しい部門となっています。

ここで、家庭からの二酸化炭素排出を減らすためには、私たち区民一人ひとりが積極的に取り組みを進めることが必要ですが、行きすぎて私たちの生活の基盤を損なうようなものであってはなりません。区民は、地球温暖化対策に取り組むことの重要性を学ぶとともに、区民一人ひとりが日々の生活の中での省エネ取り組みを「はじめ」、またその取り組みを「継続」します。さらに、省エネ取り組みを周囲の人々にひろげていきます。

区民の取り組み

- 地球温暖化対策に取り組むことの重要性を学びます。
- 省エネに向けて、日々のライフスタイルを環境に配慮したものに見直します。
- 自らの取り組みを踏まえ、周囲に活動を促すなど、環境に配慮した暮らしをひろめます

連　携

事業者の取り組み

- 従業員教育などにより、通勤時や生活の中での温暖化対策の実践を促します。
- 事業活動などによって得た省エネルギー活動等に関するノウハウを、区民に提供します。
- 自ら実践している自然エネルギーの導入や省エネルギーの取り組みを、見学会の開催などにより区民に周知します。

出典：　身近な地球温暖化対策（環境省）

支援

取り組みを促進する区の役割

■　区民の理解を深め、取り組みの輪をひろげます

地球温暖化問題や地球温暖化対策に関する区民の理解を深めるため「しながわECOフェスティバル」での省エネライフの積極的なPR活動を継続するとともに、「しながわ環境大賞」により区民や事業者等の自発的な環境活動を支援し、その取り組みを広く周知します。

また、環境活動の拠点である環境情報活動センターでは、活動の場の提供、最新の環境情報の発信、ECOだよりによる省エネライフ実践の紹介など、区民の自主的な活動の支援とともに温暖化防止の取り組みの輪を広げます。

■　区民の行動を促進します

エネルギー消費の「見える化」による省エネルギーの普及を推進します。他にも、しながわ版家庭 ISO、マイバッグ運動に加えマイ箸運動、カーボンフットプリントの普及、省エネナビの活用など、区民の実践を助けるための情報やツールを提供し、積極的な行動を促します。あわせて、エコドライブのさらなる拡大、運転免許返納制度による省エネ行動の推進を図ります。

■　省エネ家電への買い替えを促進します

省エネルギー型家電、LED、有機 EL などの高効率型照明等の導入を促進し、家庭の中での温暖化対策を図ります。

■　高効率機器の導入を促進します

CO_2 冷媒ヒートポンプ給湯器、潜熱回収型給湯器、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム等の導入の促進を図り、家庭の中での温暖化対策を強化します。また、シナモニと連動した「バーチャルエコ住宅」ホームページで住まいの省エネ対策事例を紹介し、住まいにおける対策を推進します。

■東京都と連携し、区民の省エネ取り組みを促進します

東京都の実施している「白熱球一掃作戦」や「家庭の省エネ診断員制度」を周知することにより、区民の省エネ取り組みの促進を図ります。

また、都の取り組みと連携し、電球型蛍光灯への買い替えの啓発や、新築マンションの環境性能表示の周知などにより、区民の省エネ取り組みを促進します。

重点取り組み 2　環境に配慮した事業活動の促進

品川区の二酸化炭素排出量を削減するためには、オフィスを中心とした事業者からの二酸化炭素排出量を、大幅に減らさなくてはなりません。事業活動に伴うエネルギーの利用方法等を見直し、効果的で効率的な利用を目指す必要があります。

事業者は、「ISO14001」などの環境マネジメントシステムの取り組みをはじめ、環境に配慮した事業活動の実践に重点的に取り組みます。

また、設備投資が必要な省エネルギー改修などについても、経済的に有利な事業推進手法の普及を図ることで、事業者の省エネルギー対策を促進します。

品川区は、事業者のエネルギー利用の合理化に関する取り組みを支援し、事業者の活動をスリムにします。

事業者の取り組み

- ISO14001、エコアクション 21 などの環境マネジメントシステムを導入します。
- 省エネルギー診断を受け、省エネルギー改修等を行います。
- 事業者間で情報を交換・共有し、より良い対策を実践します。

連　携

区民の取り組み

- 環境に配慮した製品やサービスを購入します。
- 事業者による省エネルギー活動や環境配慮の取り組みを理解します。

事業者向け環境セミナー風景

支援

取り組みを促進する区の役割

■ 環境管理システムの導入を進めます

中小企業等のエネルギー利用の合理化を進めるため、ISO14001 やエコアクション 21 などの情報提供や認証取得支援を行います。

■ 事業活動に伴うエネルギーをスリムにします

エネルギー消費量を削減するため、中小事業者を対象とした省エネルギー診断や、ESCO 事業に関する情報提供を行います。また、IT 技術を活用したエネルギー消費状況の見える化を普及するとともに、省エネルギー設備導入に際するアドバイザー派遣制度や、省エネルギー設備への助成について検討します。

「エコクリーン事業所認定制度」の普及・拡大に加え、エコクリーン認定事業所間の交流を図っていきます。

加えて、環境負荷の少ない運輸事業運営を認証する「グリーン経営認証」の取得促進、国や東京都と連携した物流拠点における外部電源装置の設置など、自動車利用に際する温暖化対策を検討します。

■ 東京都と連携し、事業者の省エネ取り組みを促進します

東京都の実施する「地球温暖化対策報告書制度」（中小規模事業者対象）において、制度の周知や省エネ対策に関する情報提供などにより、積極的な参加を支援します。

また、都の取り組みと連携し、開発事業者等への新築マンション購入時の環境性能説明の義務づけなどにより、事業者の省エネ取り組みを促進します。

重点取り組み３　環境学習・環境教育の充実

地球温暖化を防止するための取り組みを広く普及させていくためには、私たち区民が地球温暖化問題について深く認識し、取り組みの重要性について理解しなくてはなりません。

とりわけ、次代を担う子供たちに地球温暖化問題を正しく理解してもらうことは、低炭素社会の実現に欠かせません。この子供たちの取り組みが、家庭での取り組みに広がっていくことも期待できます。

品川区では、学校における環境教育として、これまで「市民科」での地球環境問題やごみ問題の学習に取り組んできました。今後も、引き続き学校教育における環境教育の実践を継続するとともに、一層の充実を図ります。

また、地球温暖化に関する知識の普及を図るため、環境学習講座の開催や、環境活動に熱意を持って取り組める区民や事業者の育成に重点的に取り組みます。

区民の取り組み

- 地球温暖化に関する情報をいろいろな手段で収集し、認識を深めます。
- 地域で行われている様々な環境保全活動に参加します。
- 温暖化を防止するための暮らし方を広めます。

連　携

事業者の取り組み

- 事業所や工場等での省エネ成果等を活かした環境学習プログラムを提案します。
- 地域で行われている環境保全活動に参加します。

品川区環境情報活動センター

支援

取り組みを促進する区の役割

■　環境情報活動センターの機能の活用と充実を図ります

環境情報活動センターは環境活動の拠点としてだけでなく、区民の環境学習の拠点として、講座内容の質の向上、最新の環境情報を取り入れるなど、内容をさらに発展させます。また、事業者による環境学習プログラム・講座について環境情報活動センターがコーディネイトし、協働による環境学習を広めるなど、環境学習の拠点としての機能の向上をさらに図ります。

■　地球温暖化防止に関する取り組みを学びます

地球温暖化を防止するための省エネルギー活動に関する学習会の開催や、事業者への省エネ等の推進を啓発する環境経営支援講演会の実施、また、身近な地球に優しい取り組みを広く区民に啓発する機会として「環境講演会」を継続して開催します。

■　学校において地球温暖化に関する教育を推進します

小中学校における「市民科」でごみ問題や地球環境について学ぶとともに、日々の生活の中で一人ひとりが「できる取り組み」から実践します。また、しながわ版学校 ISO に取り組みます。加えて、ヒートアイランド対策の効果等を検証するとともに、熱中症対策や住民の方々・小中学生の環境意識向上に寄与する「しなモニ（品川環境モニタリングシステム）」を活用した環境教育に取り組みます。

さらに、他機関とも連携し、子供向け環境マネジメントシステム「キッズ ISO」や東京都の省エネチェックシート「アクション 7」の活用、「CO_2 削減アクション月間」における日常生活での行動点検などにより、意識を高める取り組みを推進します。

■「学校施設」を通して地球温暖化について学びます

学校に太陽光発電や、地熱利用、屋上・壁面緑化、雨水利用等を導入し、これを環境教育の教材として活用します。

■自然再生活動から温暖化防止を学びます

区内の自然再生活動を通じ、次代を担う子どもたちに命や自然環境の大切さを伝えることなどを目的とした「蝶の道プロジェクト」を推進するとともに、「早川町の里山再生」における区民の活動を支援し、その取り組みを広げます。

■　地域の温暖化防止を進める人材を育てます

すべての主体に対し温暖化防止行動を普及させるため、温暖化防止に関する地域での活動を牽引する人材を育成し、環境活動推進会議を活性化するとともに、環境に関する組織・人材のネットワークを形成します。

重点取り組み 4　自然エネルギーの導入促進

地球温暖化を防ぐためには、化石燃料の使用をできるだけ減らし、自然エネルギーの使用に転換していく必要があります。自然エネルギーを利用した太陽光発電システムや太陽熱利用システムは、発電時などに二酸化炭素をほとんど排出しない環境にやさしい機器です。そのため、国や東京都では、環境と調和した持続可能な社会の構築を目指し、これらの機器の普及拡大に向けた取り組みが進められています。品川区においても、区民や事業者への太陽光発電システムをはじめとする自然エネルギーの普及啓発や導入支援により、自然の力を活かした環境にやさしいエネルギーの導入を推進します。

また、自然エネルギーには、他にも風力、地熱、温度差熱利用、バイオマス発電・熱利用等があります。今後は、これらの自然エネルギーの導入可能性についても、調査・研究していきます。

区民の取り組み

●太陽光発電システムや太陽熱利用システムの導入について検討します。

事業者の取り組み

●太陽光発電システムや太陽熱利用システムの導入について検討します。

●グリーン電力（熱）証書の購入などにより、自然エネルギーの導入を支援します。

太陽光パネル（品川区資源化センター屋上）

支援

取り組みを促進する区の役割

■自然エネルギーを広く知ってもらいます

太陽光発電システムや太陽熱利用システムなどの自然エネルギー活用機器の導入について、太陽エネルギー見本市、省エネ・新エネセミナーの開催などを通じて、積極的な情報提供や普及・啓発活動を行います。

■住宅等への自然エネルギーの導入を支援します

太陽光発電システム・太陽熱利用システムの導入支援や、国や東京都の取り組みの周知などにより、自然エネルギーの導入を促進します。また、環境共生住宅に対する助成を充実します。

■区役所･学校等に率先的に導入します

区民や事業者の自然エネルギー活用機器導入を促進するため、区役所が率先して、自然エネルギー活用機器の導入を進めます。また、様々な自然エネルギーの導入可能性について、調査・研究していきます。

環境負荷の低減や自然との共生に対応するとともに、環境教育の教材として活用できる学校施設とするため、太陽光発電、地熱利用、屋上・壁面緑化、雨水利用の導入等の整備（エコスクール）を（仮称）品川地区小中一貫校に導入します。

［参　考］

自然エネルギーの導入に関する今後の動向

我が国では、温室効果ガスを減らすため、自然エネルギー、特に太陽光発電システムを大幅に導入することを目指しています。

今後の動き

- ◆ 政府は、2020 年度までに太陽光発電設備の容量を大幅に増加させることを表明
- ◆ 東京都は、太陽光発電設備・太陽熱利用設備を毎年 2 万世帯ずつ増加
- ◆ グリーン熱証書制度の創設

このような今後の動きを踏まえ、品川区では、太陽光発電システムをはじめとした自然エネルギーの大幅導入を目指し、区民・事業者との連携を図っていくものとします。

重点取り組み 5　低炭素型まちづくりの実現に向けて

低炭素社会の構築のため、区民、事業者、区は、様々な取り組みが必要ですが、取り組みの中には短期の間で実現できなくても、中長期の視点で実現をめざすものもあります。高度な土地利用が行われている品川区においては、将来の「低炭素のまちづくり」に向けた長期的な視野を持った取り組みが必要です。このため、面的な開発におけるエネルギー有効利用、公共交通利用への転換、建築物の新築・増築における環境配慮といった取り組みにより、低炭素型のまちづくりの実現をめざします。

一方、市街化の進行に伴い、ビルからの排熱増加や都市形態の変化、道路混雑による輸送効率の低下等により、ヒートアイランド現象が見られます。ヒートアイランド現象を緩和し、二酸化炭素排出の少ない「低炭素なまちづくり」を進めるためには、アスファルトやビルに代表される人工的な被覆面の改善として都市の緑化が重要です。品川区では、「涼のみち」（保水性・遮熱性舗装）の整備、建築行為（敷地面積 300m^2 以上）における緑化の義務付けや大木・樹林の保存、屋上・壁面緑化及び接道部緑化への助成とともに、緑のカーテンの普及、雨水を利用した打ち水などにより、ヒートアイランド対策を推進します。

区民の取り組み

- 雨水貯留設備を設置し、散水等に利用します。
- 冷房効率を向上させる屋上緑化や「緑のカーテン」を設置します。
- 「涼のみち」の整備とともに、雨水を利用した「打ち水」を行います。

事業者の取り組み

- 雨水貯留設備を設置し、雨水の有効利用を図ります。
- 屋上や壁面も含めた敷地内の緑化を実施します。
- 大崎風の道の形成など、まちづくりにおいてヒートアイランド対策を推進します。

資料：「チーム・マイナス 6%ホームページ」に基づき作成。
低炭素社会のイメージ

取り組みを促進する区の役割

■　雨水を利用してまちを冷やします

ヒートアイランド現象を緩和し、涼しいまちの実現を目指して、保水性・遮熱性舗装を整備する「涼のみち」の推進、雨水利用タンク設置への助成、また打ち水大作戦を実施します。

また、ヒートアイランド対策の効果検証を行う「涼しさ回復プロジェクト」の中で情報提供することにより、対策についての啓発を図ります。

■　まちなかに緑を増やします

まちなかの緑を増やすため、建物の屋上・壁面における緑化や、公園・地域センターなど身近な施設での花植え活動への助成を行います。また、大きな樹木や樹林を守るための支援や、つる性植物を利用した「緑のカーテン」の普及・啓発を図ります。

■　東京都と連携し、低炭素まちづくりを推進します

東京都の実施している「地域におけるエネルギー有効利用計画制度」や「建築物環境計画書制度」の周知を図り、建築物あるいは開発事業の環境配慮を求めていきます。

■　環境負荷の小さい交通システムを目指します

公共交通機関の利用などにより、できる限り自動車を使わないライフスタイル・事業活動を積極的に推進します。また、燃料消費を抑える「エコドライブ」の実践のため、エコドライブ講習会を開催します。

加えて、クリーンエネルギー自動車への買い替えを促進するため、クリーンエネルギー自動車購入への助成を行います。

さらに、カーシェアリングの仕組みの検討、電気自動車のための急速充電設備設置の検討、環境負荷の小さい公共交通機関の研究を行います。

支援

［参　考］

低炭素型まちづくりに関する今後の動向

我が国では、都市における環境負荷の低減や熱環境の改善、水と緑のネットワーク形成、二酸化炭素排出の少ない交通輸送網の整備などに取り組むことで低炭素型のまちづくりの実現を目指しています。

今後の動き

- ◆　地表面被覆の人工化による蒸発散作用の減少や地表面の高温化の防止・改善等
- ◆　冷気の発生源となる緑の拠点・水面等の風の通り道を確保し、ネットワークを形成
- ◆　環境負荷の小さい輸送機関への転換等による物流の効率化

このような今後の動きを踏まえ、品川区では、保水性舗装や高反射率塗装、水とみどりのネットワーク形成に協力し、低炭素まちづくりを進めていくものとします。